

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぬくもりの森 きっず			
○保護者評価実施期間	2025 年 2 月 1 日		～	2025 年 2 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21 名	(回答者数)	18 名
○従業者評価実施期間	2025 年 2 月 1 日		～	2025 年 2 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 名	(回答者数)	5 名
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 3 月 20 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画書や契約時の説明、個人情報の取り扱い等について。	長く書いてある文章を端的に分かりやすく伝えるよう配慮し、区切りの良い所で都度質問がないかを確認する等の工夫を行っている。	漏れや抜けがないようしっかりと説明や対応をしていく。加えて、保護者に合わせた説明の仕方や配慮の仕方等を考え、すぐに対応できるようにしていく。
2	スタッフの子ども理解、支援プログラムに沿った支援が行われていること。	保護者からのニーズや実際の児童の様子をスタッフとすぐに共有できるよう、LINEや職員会議等を活用している。また、支援の方向がずれていかないよう、支援プログラムをスタッフへ周知したり、管理者の考えを改めて伝えたりするよう配慮している。	スタッフそれぞれの考え方や捉え方により、子ども理解や支援への相違へと繋がらないよう、伝える時の言葉選びや相違がないことの確認を行っていくようにする。
3	当事業所へ通うことを楽しみにし、安心して通える場となっていること。	子ども達が“楽しい”と思える活動、遊び等を行っていくよう、スタッフ間での活動設定や遊び場の選定等を行っている。また、母子分離等により不安な気持ちで来所する子ども達が多い為、子ども達の気持ちに寄り添い、安心感へと繋がるように配慮している。	子ども達の遊びを大事にし、子どもと一緒に遊べる場を今後もスタッフ間で話し合い、療育へ活かしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会や保育園や幼稚園等との交流等の機会がないこと、保護者への研修会についての情報発信等が少ないこと。	父母会等については以前トラブルがあった為、開催についてはかなり慎重に検討していきたい。	オンラインでの開催等検討していく。研修会については、情報を積極的に仕入れ、保護者等へ発信していく。
2	日常活動が事前に分からない、年間行事予定があれば良い情報発信の少なさ等。	日常活動については、月々で何をするのか固定化せず、その日の子ども達の様子やメンバーで決めている為、事前に分かるようにするのは今の所大きい行事、準備が必要な活動のみ。	なるべく事前に分かっている活動については、お知らせをしていく。日常活動の様子については日々の手帳やブログで発信していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 めくもりの森 きっず

公表日 2025 年 4 月 1 日

利用児童数 21 名 (2025年3月15日時点) 回収数 19 件

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2	1		利用人数を考えるとスペース的に少し狭く感じました。	利用人数をなるべく調整して狭く感じないように配慮していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1		3	あまり把握しておりませんでした。	職員の配置数はその日によって異なるので、なるべく契約時に職員の人数はお伝えしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1		1	トイレ等隅々まで見れてないので、どちらとも言えないです。	日々清掃を心がけていつ来ても心地よく過ごせる空間を作っていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17		1	2	専門性という言葉が具体的に何を指すのか分かりませんでした。専門職の方が常にいる訳ではないので専門性には欠けます。	子どもの特性に応じた専門性を勉強していきます。専門職の方については検討します。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14			5	他の事業所はカレンダーに活動内容が書いてあり、この日はこんなことをするのだなと前もって分かります。事前に活動内容が分からない為、固定化されていないかは不明。	前もって分かるように月のスケジュールを作成するかスタッフ間で検討します。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5		3	11	そういった活動をしているのか分かりません。	今の所交流や地域で他のお子さんと活動する機会は設けていなかったので検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1	2			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5		3	11	年1回事業所との面談はあるがそれ以外のことに参加したことがありません。参加したことがないので分かりません。これからあれば良いと思います。	家族等も参加できる研修会や情報提供の機会は設けていませので、検討していきます。情報共有の部分はこちらが知りえる情報は提示していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	16	3			朝の体調確認をされない時もあります。	毎回の利用の際には体調確認をするよう徹底します。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	1	2	月1であれば良いと思います。	ご要望に応じて検討していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1			人によると思います。	スタッフ間でばらつきのないよう、スタッフ間で再度共有していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	3	12	これからあるのかもしれませんが、何かしらの交流はあると良いかもしれません。短期の利用で分からず、今後あれば利用したいです。	父母会やきょうだい同士の交流等については、検討していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1		2	短期の利用で分らず、今後あれば利用したいです。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1		1	送迎で30分位遅れてしまう場合忙しく大変とは思いますが連絡が欲しいです。	遅れる場合には、連絡いたします。また、事前に遅くなりそうな場合には何時頃のお迎えか連絡していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	2		1	定期的にHPのブログやお便りで活動の様子は分かるもの、イベント時のものが中心で日常活動の様子は分かりにくい。連絡帳があるのはすごく嬉しく、ありがたいです。行事予定等があれば書類で欲しいです。	日々の過ごしの様子もお伝えできるよう工夫していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16			3	訓練や車移動、公園遊びの補助の仕方等していることがあれば見てみたい。安心材料になる（お便り、HP等）	どのように行ったのか等分かるように発信していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13			6	訓練や車移動、公園遊びの補助の仕方等していることがあれば見てみたい。安心材料になる（お便り、HP等）	どのように行ったのか等分かるように発信していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			4	訓練や車移動、公園遊びの補助の仕方等していることがあれば見てみたい。安心材料になる（お便り、HP等）	どのように行ったのか等分かるように発信していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			5	訓練や車移動、公園遊びの補助の仕方等していることがあれば見てみたい。安心材料になる。（お便り、HP等）	どのように行ったのか等分かるように発信していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	2			最近子どもが情緒不安定の為。いつも楽しかった～と言ってます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	2			毎回楽しみにしています。以前は楽しみにしていました。今は少し行き渋りがあります。毎日「明日ぬくもり？」と聞かれます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ぬくもりの森 きっず		公表日			2025 年 4 月 1 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	やや狭いと感じるが広すぎてもケガ等に繋がる。(狭くても走る子が居る。)		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1		掃除日、消毒日等を設ける等必要。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2		物を日ごろから片付けてスペース確保へ繋げる。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		会議や直接共有した方が良いことは直接話す等している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	3		工夫しているが利用日数が多い子に対し、個別にレベルアップした活動等をしていきたい。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		5	送迎等の兼ね合いで密な打ち合わせが難しいことが多い。その分臨機応変に対応する力が身に付き、連携することに繋がっている。	前日の夕方やLINE等用いて、話し合える時間作り等していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	パートスタッフとは支援終了後になかなか話ができない為会議やLINE等で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	4		小学校との繋がりは薄いため、連携できる関係づくりから始めていくことが必要。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	1	4		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		情報を取り入れ、研修等の情報を発信していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	該当する子がいる場合には配慮している。	医師の指示所が出るような子が居ない現状ではあるが、指示所があった場合には対応できるようにしておく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			